小型充電式電池のリサイクル回収依頼時の安全処置方法（事例）

目　次

◆短絡起因箇所の絶縁処置・・・・・２～８

◆回収できない電池・・・・・・・・・・・・９～10

◆正しい梱包方法・・・・・・・・・・・・・・11

小型充電式電池リサイクル

一般社団法人 JBRC

発行　2025年6月

安心・安全回収のために

■JBRCでは小型充電式電池の「安心・安全」なリサイクル・回収を推進しています。
リード線や金属端子部分が露出したものは短絡により発熱、発火の恐れがありますので
テープ等で必ず絶縁してください。

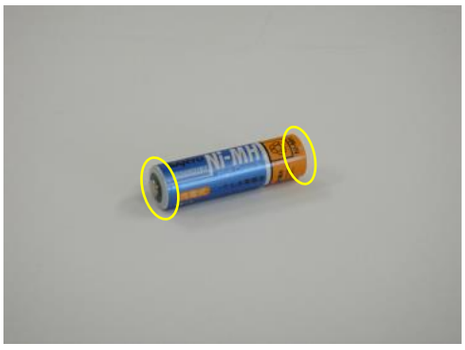
■絶縁処置の不十分な電池、不適切な梱包が確認された場合、該当の「排出者」に注意文書で
お知らせします。注意文書の発行が続いた場合、回収依頼の受付を停止させていただきます。

重大不具合発生処置

■発熱・発火に至る恐れや分解・解体等の重大な不具合が確認された「排出者」は回収サービスを
停止いたします。

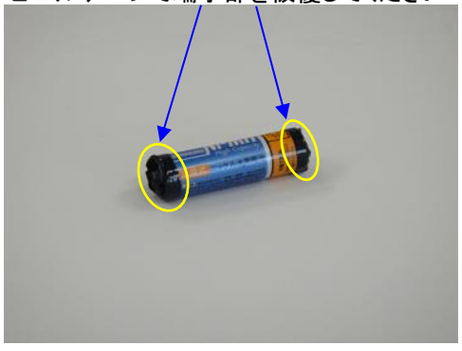
短絡起因箇所の絶縁処置

※　絶縁処置のビニールテープは、電気絶縁用ビニールテープを使用ください。
規格;JIS C 2336:2012　適合品



（両極端子部露出）

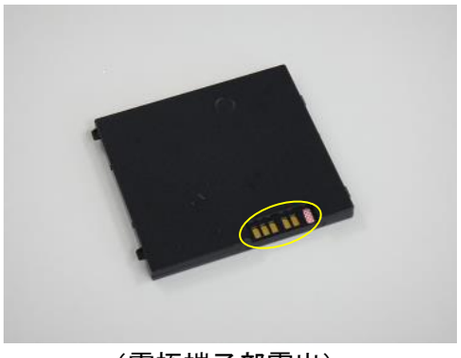
ビニルテープで端子部を被覆してください



（両極端子部の被覆）

（電極端子部露出）

（電極端子部の被覆）

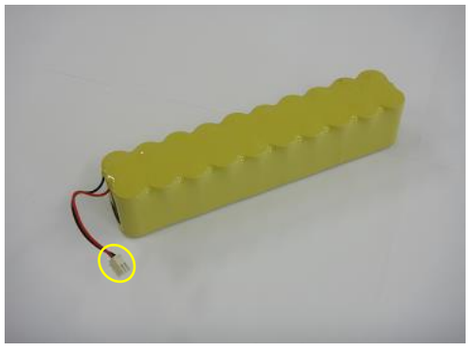


（電極端子部露出）

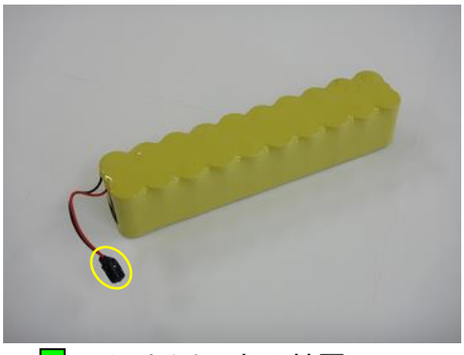
（電極端子部の被覆）

（電極端子部露出）

（電極端子部の被覆）

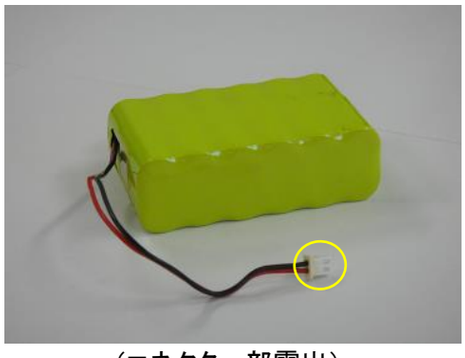


（コネクター部露出）



（コネクター部の被覆）

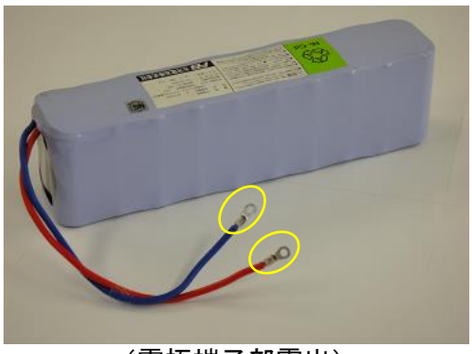
（コネクター部、リード線の固定 ）



（コネクター部露出）

（コネクター部の被覆）

（コネクター部、リード線の固定 ）

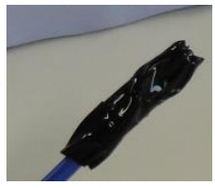


（電極端子部露出）

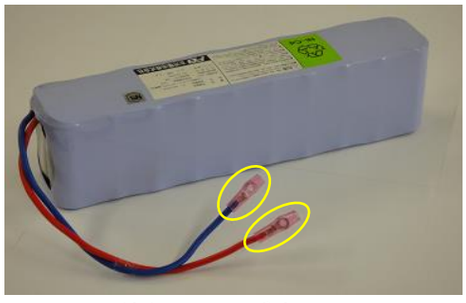
（電極端子部の被覆）

※絶縁テープによる端子部の被覆はテープを挟み込んだ被覆では不十分(外れやすい)であり
テープを巻きつけて絶縁してください。

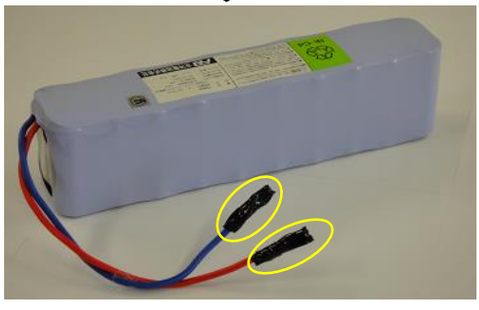
（テープ挟み込みNG）



（テープ巻きつけ）

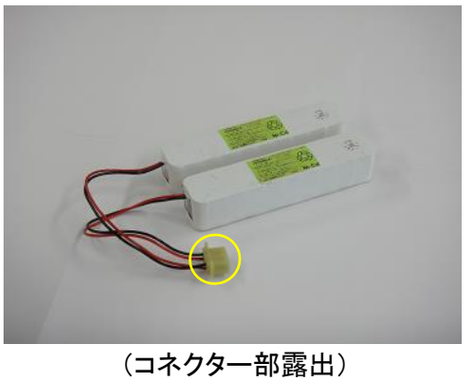


（絶縁チューブ嵌め込み）



（絶縁チューブの固定）

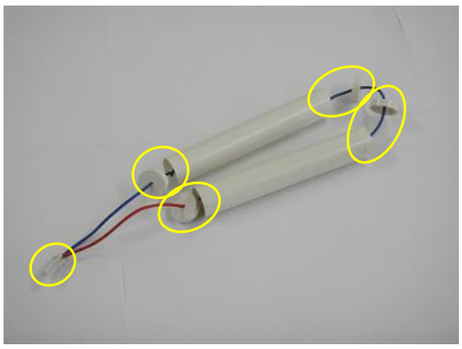
（端子部リード線を別々の位置に固定）



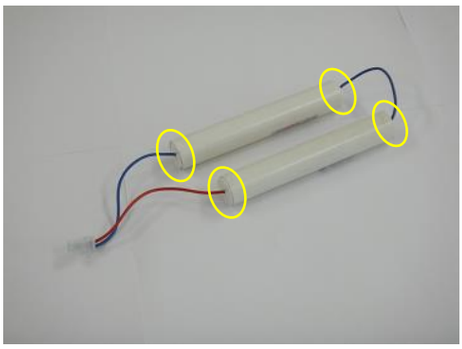
（コネクター部露出）

（コネクター部の被覆）

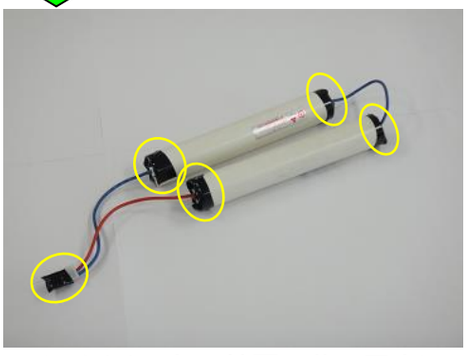
（複数電池パック、リード線の固定）



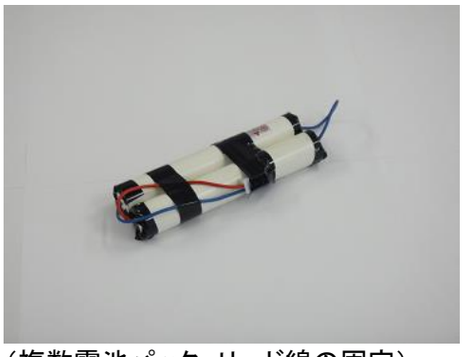
（コネクター部露出／電池パック蓋外れ）



（蓋の嵌め込み）



（コネクター部の被覆／蓋の固定）



（複数電池パック、リード線の固定）

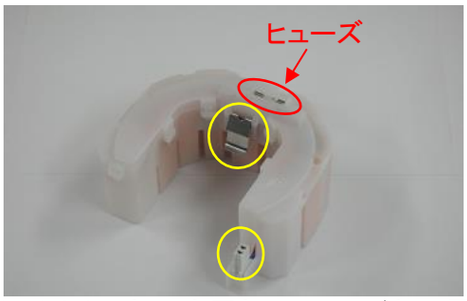
（電極端子部露出）

（電極端子部の被覆）

（電極端子部露出）

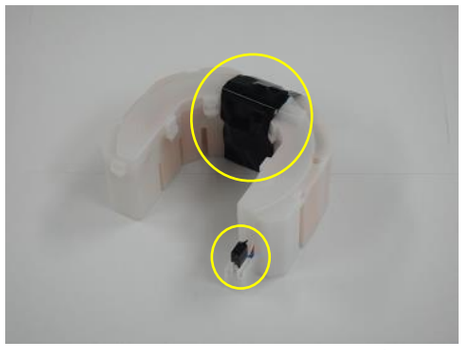
（絶縁キャップ嵌め込み）

（キャップの固定）



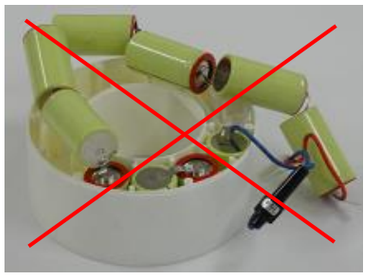
（コネクター部／金属部／ヒューズ部の露出）

（ヒューズは取り外す）

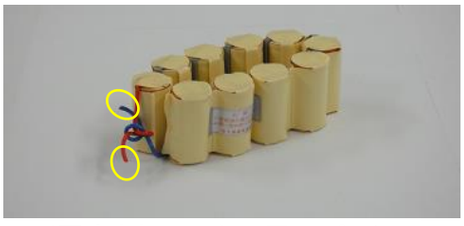


（コネクター部／金属部／ヒューズ部の被覆）

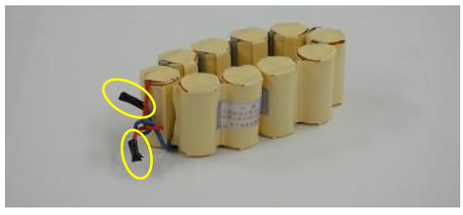
電池を装着状態から取り外す為に装着品の解体を必要とする場合には、装着状態で回収します。



装着品から取り出した電池は回収できません。



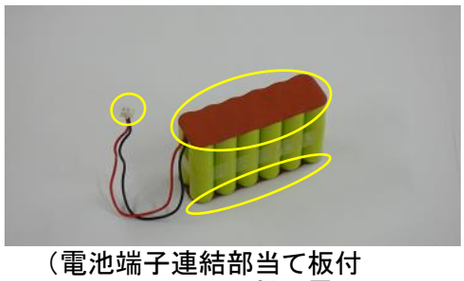
（固定されていない電池パック



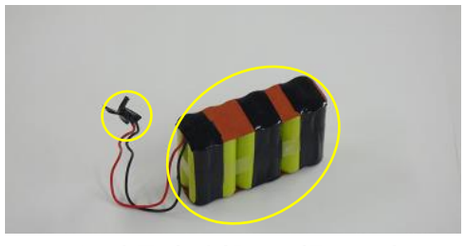
（リード線切断部の被覆）

（電池パックの固定）

全体をテープで覆った場合、電池種を記入して下さい

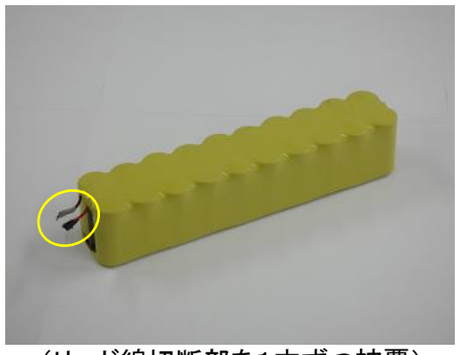


（電池端子連結部当て板付
／コネクター部の露出）

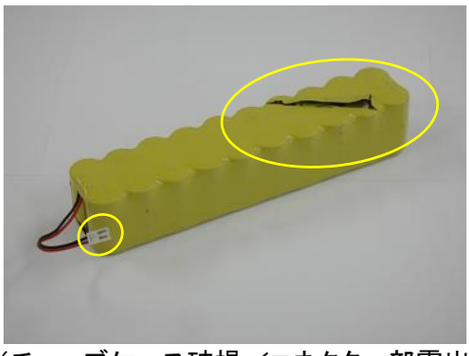


（電池端子連結部当て板の固定
／コネクター部の被覆）

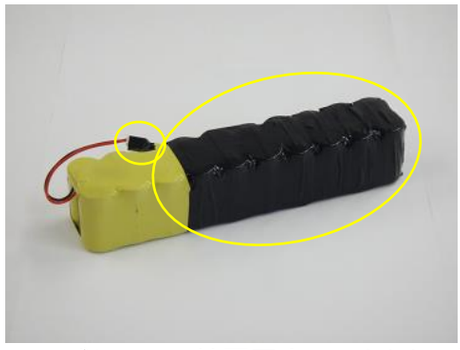
（リード線切断部露出）



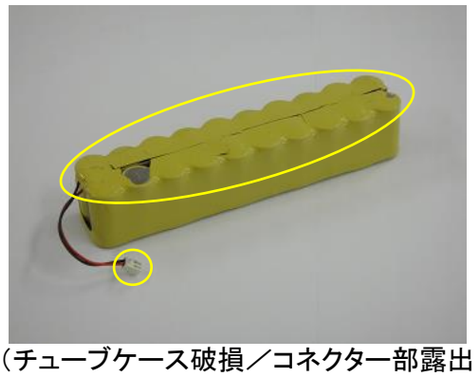
（リード線切断部を1本ずつ被覆）



（チューブケース破損／コネクター部露出）

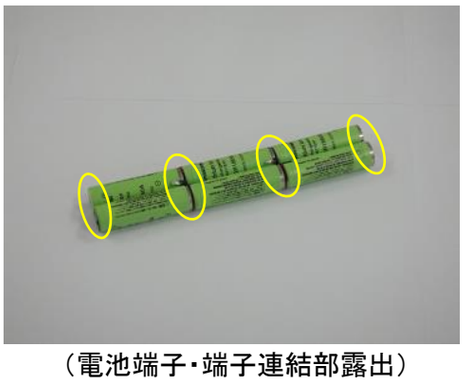


（チューブケースの被覆固定／コネクター部被覆）



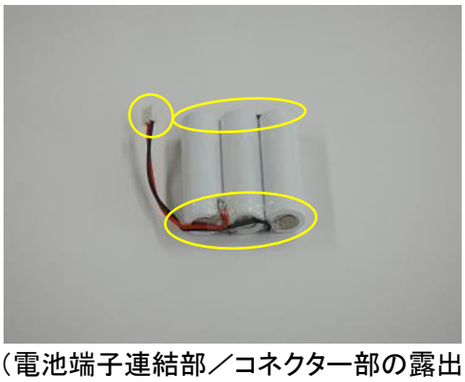
（チューブケース破損／コネクター部露出）

（チューブケースの被覆固定／コネクター部被覆）



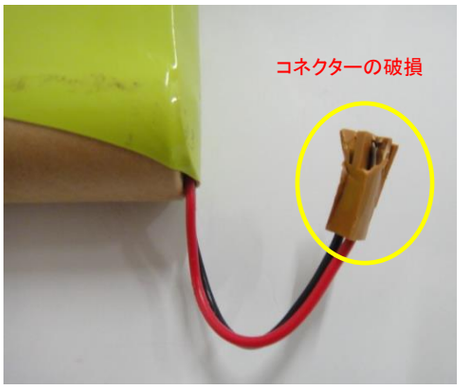
（電池端子・端子連結部露出）

（電池端子・端子連結部被覆／電池固定）

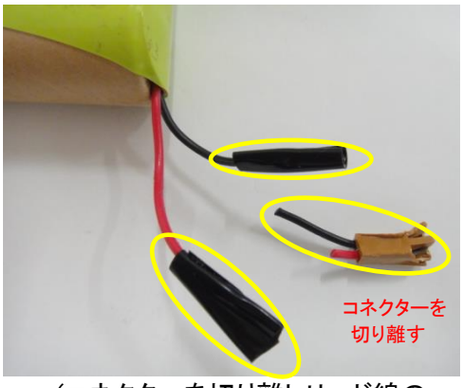


（電池端子連結部／コネクター部の露出）

（電池端子連結部／コネクター部の被覆）

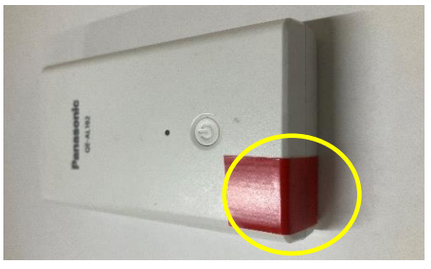


（コネクター部の破損）
コネクター内でリード線同士が接触し
短絡の可能性あり



（コネクターを切り離しリード線の
先端を絶縁／リード線は短絡防止
のため1本ずつ切断）

（モバイルバッテリーの端子部露出）



（モバイルバッテリーの端子部の被覆）

（クリーナー用電池の端子部露出）

（クリーナー用電池の端子部の被覆）

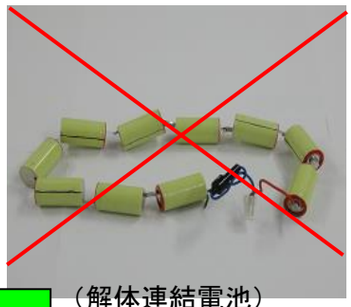
（アシスト自転車用電池の端子部露出）

（アシスト自転車用電池の端子部を絶縁）

回収できない電池

◆解体電池

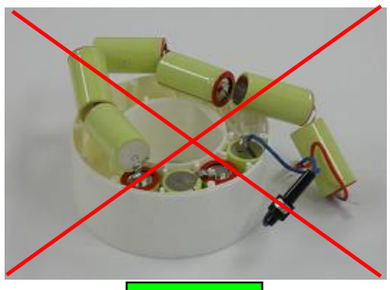
（解体連結電池）



（解体連結電池）

解体された電池は回収できません。
製品の形体ではない電池は回収できません。

◆解体に近い状態



解体されている電池は
回収できません。

◆ユーザーが製作した電池(実験、試作等)

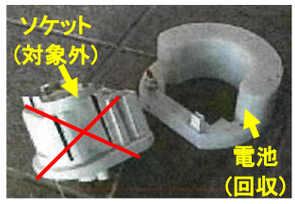
（実験・試作等の電池）

ユーザーが製作した電池(実験、試作等)は
回収できません。

◆電池のソケット、ユニット(回収対象外)

電池とソケットがセットされた状態

電池とソケットを分け電池のみ回収



ソケットやユニットは回収できません。
ソケットやユニットは電池パックではありません。

◆電池のソケット、ユニット(回収対象外)

電池とソケットがセットされた状態

電池とソケットを分け電池のみ回収

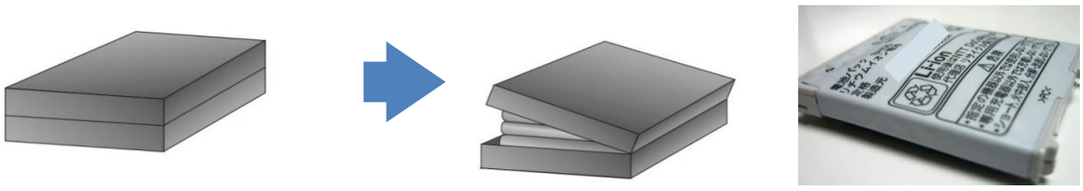
ソケットやユニットが電池にセットされている場合、電池から取り外してください。
機器から脱着可能な電池が回収対象です。電池を取り出した後の機器、ソケット、ユニットは回収対象外です。
なお、機器に内蔵されている電池は回収対象外です。

◆リチウムイオン電池の不安全事例

膨れや破損した電池パックは安全が確保できないため回収できません。

（例）電池の膨張や変形・破損した電池パック

※イメージ図



正常な状態　　破損した状態　　膨張した状態

膨張した電池や変形・破損した電池は回収できません

リチウムイオンポリマー電池もリチウムイオン電池の一種ですので、回収対象（ただし、ハードケースに入った電池パック）となりますが、電池の膨張や変形・破損した電池パックは回収対象外となりますので、ご注意ください。

なお、ハードケースに収納されていないリチウムイオンポリマー電池(パウチ型／ラミネート型)は安全面より**回収対象外です**(ハードケースとはプラスチック製や金属製の筐体、ケース)。
輸送時、電池に外圧が加わった際、パウチ型／ラミネート型電池では変形等が発生し短絡・発熱に至る可能性がある為、安全面より回収対象外とします。

●回収対象外の事例：ハードケースに収納されていないリチウムイオンポリマー電池
（パウチ型/ラミネート型)

回収対象外

回収対象外

回収対象外
（解体により取り出し）

「回収拠点」登録時の承諾事項に、下記事項を明記しておりますように、解体された電池は回収できませんので、遵守ください。

発熱・発火の恐れがあるので、次の安全措置を遵守したうえで回収対象電池を梱包する。
- プラスチックケースやプラスチックチューブ等で被覆されている電池パックは解体しない。
- 解体された電池パック、破損した電池パック、解体により取出された電池及びその部品は、回収できないので、絶対に入れない。

正しい梱包方法

◆電池種と梱包材

全ての電池をペール缶(白)で回収します。**段ボール箱やリサイクルBOX缶(黄)による回収は中止します**。
リサイクルBOX缶は設置用として使用し、回収の際は運搬用のペール缶に電池を入れ替えてください。

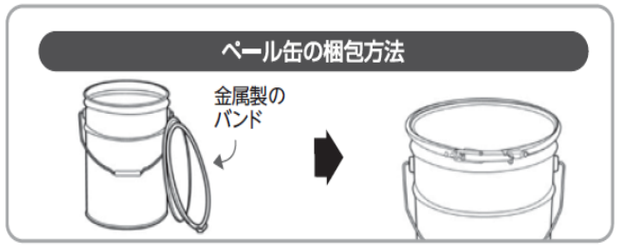
詳細の回収対象は以下となります。

	ニカド電池	ニッケル水素電池	リチウムイオン電池
排出事業者	ペール缶		
排出協力店(BOX缶有)	ペール缶		
排出協力店(BOX缶無)	ペール缶		
自転車店	ペール缶		
自治体	ペール缶		

※ペール缶での梱包で1種類の電池が10kgに満たない場合、複数の電池を電池種別に
ポリ袋で区分して10kg以上にすれば回収可能です。

◆金属缶:ペール缶(白)・リサイクルBOX缶(黄)による梱包

【ペール缶での梱包】
ニカド電池、ニッケル水素電池、リチウムイオン電池はペール缶で回収します。
ペール缶内に樹脂容器を入れその中に電池を入れてください。複数の種類の電池を入れる場合は
ポリ袋に分けて入れてください。樹脂容器内の隙間は埋める必要はありません。
ペール缶の梱包は蓋をしてバンドを締めロックしてください。詳細はペール缶に記載しています。
＜梱包方法＞
①樹脂容器をペール缶の中に入れる。
②絶縁処理した電池を樹脂容器に入れる。(複数種の電池の場合はポリ袋で分ける)
③ペール缶に蓋をしてバンドで止める(ペール缶の開け方、閉め方はペール缶に記載)
注意事項
・ペール缶の封止はバンド止めのみで、ガムテープ等は使わないでください。
・ペール缶を開け、閉めする際には怪我防止の為、軍手等を着用してください。
・樹脂容器のみでは回収できません。必ずペール缶に樹脂容器を入れてください。
・ペール缶の蓋の上に電池を載せるような梱包はしないでください。
・ペール缶に水が浸入しないよう屋内で使用し屋外に放置しないでください。



【リサイクルBOX缶による回収中止】
リサイクルBOX缶による電池回収は中止します。リサイクルBOX缶が満杯になったらペール缶を注文し
ペール缶に電池を入れ替えて回収依頼してください。ペール缶に入れる際、電池の区分は必要ありません。
リサイクルBOX缶は店頭設置用として使用ください。

＜梱包方法＞
①ペール缶の梱包方法を参照願います。

金属缶(ペール缶、リサイクルBOX缶)、樹脂容器はJBRCより
無償送付し貸与します。
金属缶(ペール缶、リサイクルBOX缶)が必要な場合、電話または
WEBで依頼ください。なお、ペール缶のみ自動電話でも受付します。

◆適正保管のお願い

電池を引き渡すまでが排出者の管理責任になります。
適正な電池の保管および確実に運送会社へ引き渡しをお願いします。